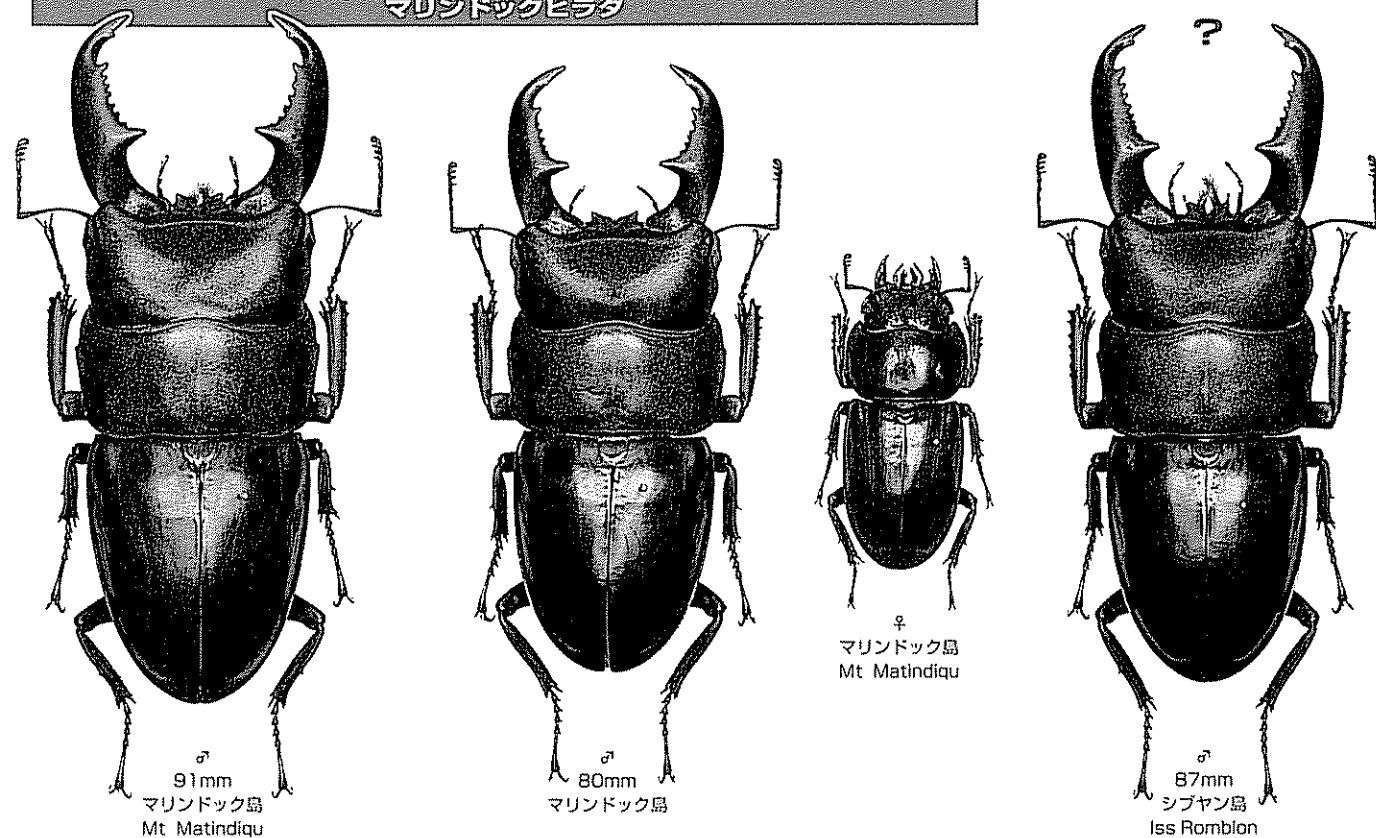


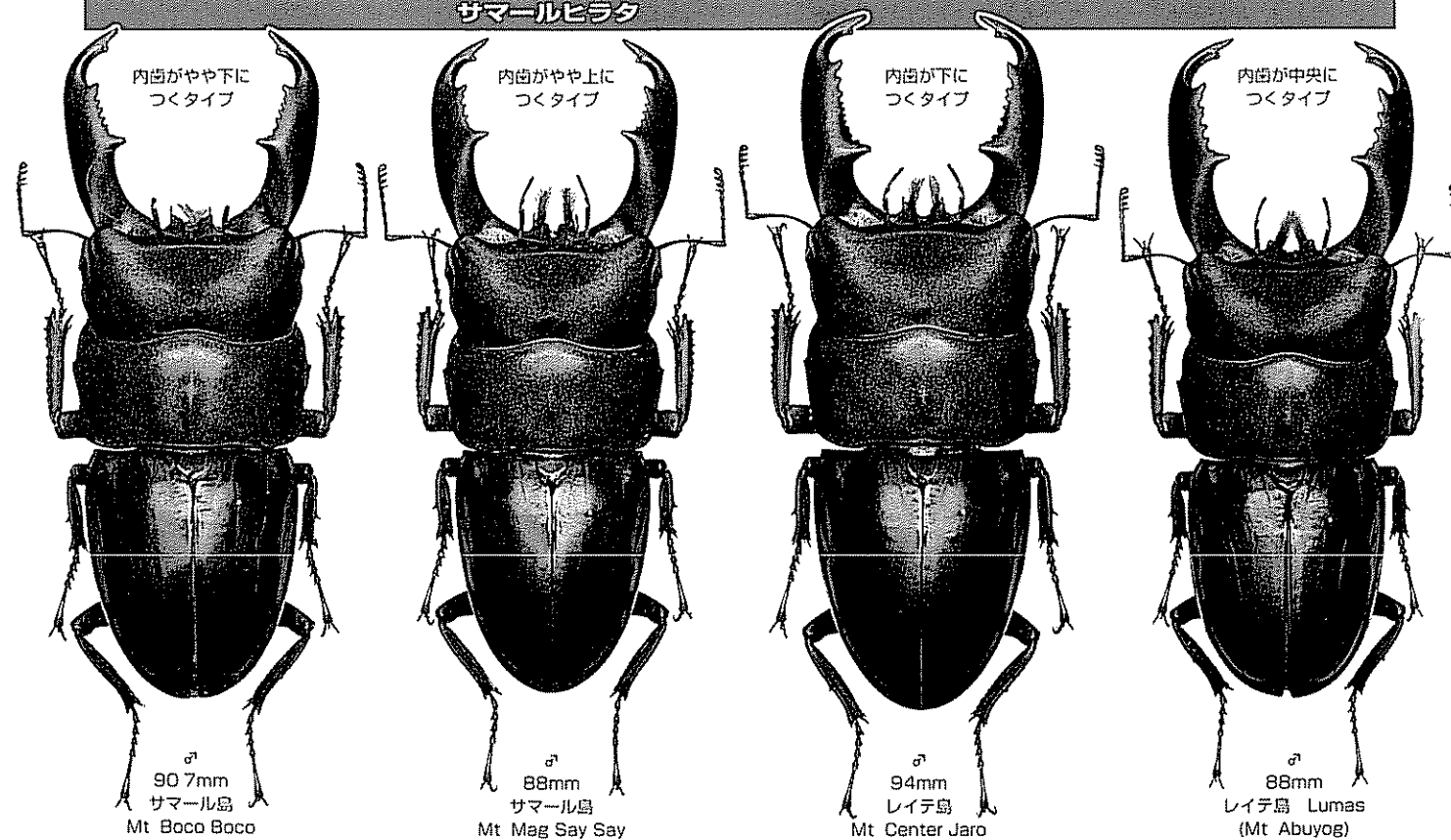
マリンドックヒラタ



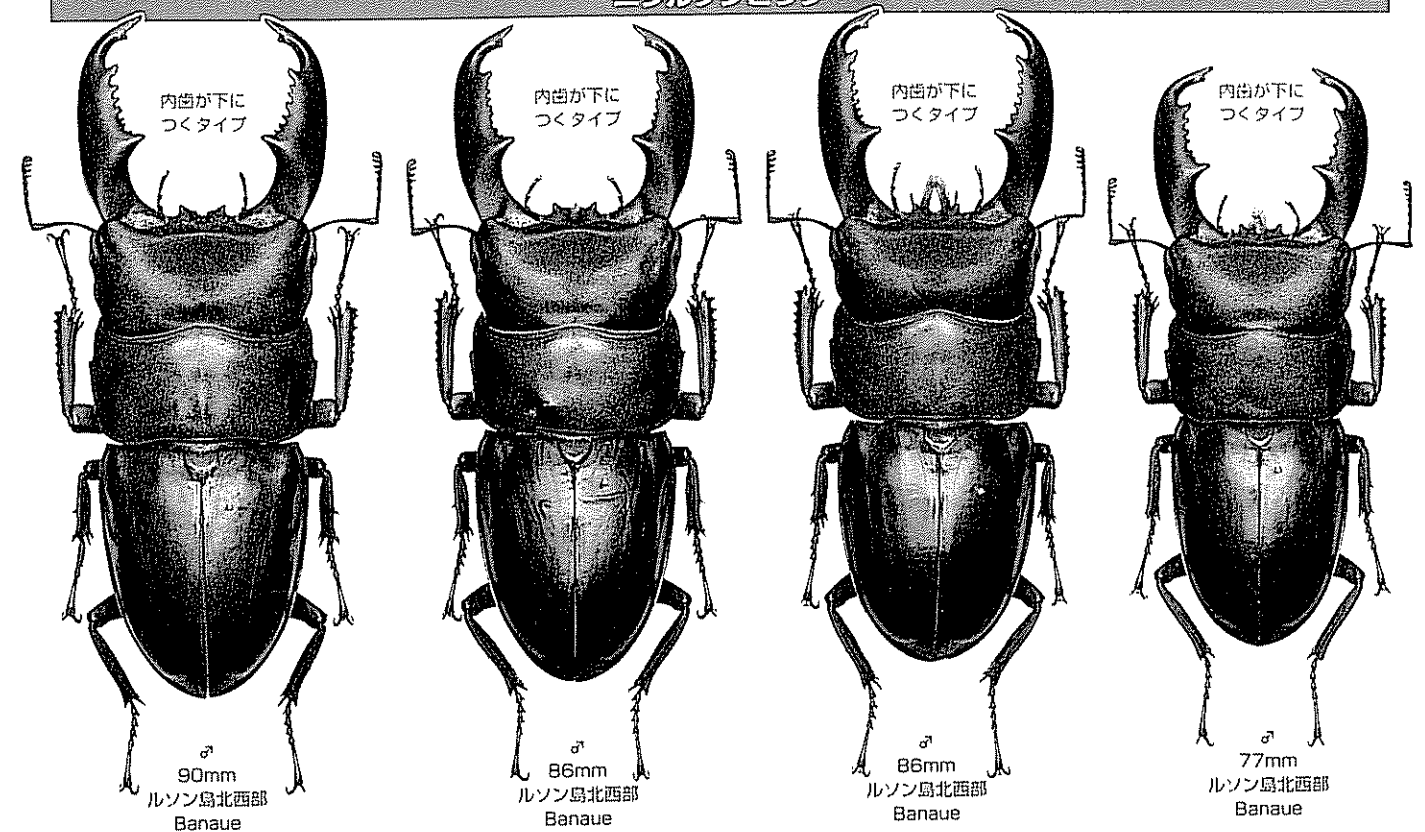
マリンドック島・シブヤン島・サマル島・レイテ島のヒラタクワガタ

マリンドック島のヒラタは、写真のように大あごが太短く、体の横幅もあり、「太いヒラタ」が好きな人には人気が高い。サマル島とレイテ島のヒラタは大あごの内歯の位置が不安定なので、とりあえずひとまとめにくってみました。

サマルヒラタ



ニシルソンヒラタ



ルソン島・カタンドゥアネス島のヒラタクワガタ

ルソン島の北西部には、大あごの内歯が中央より下につくタイプのヒラタがあり、これをニシルソンヒラタと呼んでおく。ルソン島の東部と海を挟んだ対岸のカタンドゥアネス島には、大あごの内歯が上につくタイプのヒラタがいる。これはヒガシルソンヒラタ（通り名はティオウヒラタ）と呼んでおこう。ヒガシルソンヒラタの学名は、1905年に Boileau 氏がルソン島から記載した typhon をあてることが妥当だろう。

ヒガシルソンヒラタ

